

第2回
ニューズレター

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園整備
検討委員会

令和7年
8月25日(月)
18:00~20:45
会場:レヴィタかつら



主催:勝浦町総務防災課 受託者:株式会社スバル設計

[参加者 24名]

公園整備の機能・ゾーニング図案について検討

今回の第2回委員会では、第1回委員会での意見を反映させたゾーニング図3案(ABC)をもとに、3グループが一定時間おきに3テーブルを回り意見を付箋に反映させる「旗立てマップ方式」で話し合いを行いました。

地域の未来を形づくる大切な議論が盛り沢山でした。



策定委員会の概要【4回開催】 ①7月9日 ②8月25日 ③9月30日 ④11月上旬

ゾーン・機能・主要施設の比較

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園基本整備計画

(資料 07 - 2)

ゾーン・機能・主要施設の比較(素案)

2025.08.25

ゾーン	機能	主要施設	防災機能	A案	B案	C案
①広場ゾーン	広場機能	芝生広場	※	○	×	○
		土系広場	※	×	○	×
	緑地機能	シンボルツリー		○(桜)	×	×
		植樹	※	○	○	○
	地域学習機能	みかん畑・収穫体験機能		×	○	×
	スポーツレクリエーション機能	ウォーキング・ランニングコース		×	○	×
		園路		○	○	○
親水水辺機能	小川、せせらぎ(水路改修)		○	×	×	
	小さな池		○	×	×	
	防災機能		※	○	○	×
②体験・交流ゾーン	地域学習機能	恐竜学習	PR 場所	○	×	×
			モニュメント展示場所	○	×	×
			化石発掘体験場所	○	×	×
	雨避け・日除け機能	大屋根、コンセントあり	※	大屋根 25m×32m 約 800㎡	あずま屋 5m×52m 約 260㎡	×
		コンセント	※	○	×	×
	儲ける機能	民間カフェ等※公園用地から除外		×	×	○
	交流レクリエーション機能	BBQ 棟		×	15m×20m 約 300㎡	×
マルシェ開催場所、コンセント設置			×	○	×	
遊具			小型遊具	×	大型遊具	
管理機能	管理棟		×	5m×8m 約 40㎡	×	
	防災機能		※	○	○	×
③駐車場ゾーン	駐車機能	駐車場(普通車)		約 60 台	約 45 台	約 80 台
		駐車場(大型車)		約 5 台	約 3 台	約 10 台
	駐輪機能	駐輪場		約 40 台	約 20 台	約 30 台
	管理機能	トイレ		×	×	○
共通	防災機能		※	○	○	×

A案：自然と学びの調和型	B案：交流・体験特化型	C案：機能分散・効率型
		
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生やシンボルツリーなどの緑地機能の充実 ・小川や池などの水辺の活用 ・大屋根施設があり、地域学習機能としての恐竜学習を積極的に導入 ・駐車場・駐輪場が比較的広く、来訪者の利便性を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・半円型のあずま屋を採用し、BBQ棟、マルシェ開催場所などの体験・交流ゾーンが中心 ・芝生や水辺は控えめだが、みかん収穫体験やスポーツレクリエーション機能の充実 ・駐車場はややコンパクトで日常利用を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場や植樹は維持しつつ、恐竜・化石などの地域学習機能は省略 ・大型遊具、バスケットコートなど、子どもが遊べる空間を重視 ・儲ける機能として、民間カフェ等の想定 ・駐車場は最大規模で、RVパークなども想定

ゾーン、機能に対する意見

<p>広場ゾーン(芝生・土系広場・緑地・水辺)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場は「子どもが遊びやすい」「キャンプにも使える」など肯定的な意見が多いが、「管理が大変」といった懸念の声も。 ・土系広場は「雨天時は使いづらい」といった否定的な意見が目立つ。 ・桜を中心とした植樹に賛成多数。「季節感」「シンボル性」が評価される一方、「中央にあると邪魔」「見通しが悪くなる」との懸念も。 ・みかん収穫体験は「民間でもできる」「使わない期間がある」として否定的な意見が多い。
<p>体験・交流ゾーン(恐竜学習・大屋根・マルシェ・遊具)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜学習・化石発掘は「勝浦らしさのPRになる」「レヴィタと連携したい」といった公的的な声と、「使わない期間がある」「講師確保が課題」といった実務的な懸念が混在。 ・大屋根には賛成意見多数。「マルシェや野外ステージをするならコンセント必要」といった具体的な提案も多いが、設置場所によっては「民家への配慮」が課題として挙げられている。 ・遊具については「たくさんほしい」「大型遊具を置いてほしい」とする声が多いが、「管理が難しい」「イベント時には邪魔になる」との意見も。
<p>駐車場ゾーン(駐車・駐輪・管理機能)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースについては「場所の配慮」「台数の適正化」「住民への影響」など、多角的な視点から議論された。 ・RVパークの導入には「収益性はあるが治安が心配」「設備が必要」といった慎重な声も。 ・周辺からの進入路やアクセスに関して「大型車の進入が難しい」「桜祭り時の混雑」などの課題が指摘されている。 ・トイレは「すでに2つある」「増設不要」とする意見と、「足りない」「場所の工夫が必要」とする意見が分かれる。 ・管理棟の必要性については「レヴィタと兼用でよい」「ボール貸出しなどの機能が必要」と意見が分かれた。
<p>共通(防災機能・その他)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・計画地は、土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域に位置するため、防災機能は「さりげなく取り入れるべき」「拠点としては難しい」と慎重な意見があった。 ・指定管理者の一体化(公園・道の駅・レヴィタ)を望む声あり。

まとめ

今回の委員会では、住民の多様な視点が反映されました。
 委員会では、地域住民の声を反映しながら、より魅力的で使いやすい公園づくりを目指しています。
 次回の会議では、今回の意見をもとに具体的な設計案の検討が進められる予定です。